

生理検査における TAT 管理システムの構築

～待ち時間短縮と業務改善に向けて～

◎森崎 優也¹⁾、小原 早苗¹⁾、里見 郁¹⁾、難波 真砂美¹⁾、津浦 幸夫¹⁾
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院¹⁾

【はじめに】

当院生理検査における Turn Around Time (以下 ; TAT) 管理は、既存のシステムの限られた情報での管理であったため詳細な TAT 管理及び分析が出来ず業務改善に繋がりにくい事が問題であった。

今回、我々は患者の待ち時間短縮および業務改善を図るべく、生理 TAT 管理システムを構築したので報告する。

【システム構築】

TAT 管理のために下記の 3 つのシステムを構築した。

1) 検査室混雑・使用状況モニタ (以下 ; TAT モニタ)

リアルタイムで各部門の混雑状況を表示。検査室の空室状況や部門ごとの技師人数及び位置を把握するモニタ。

2) 生理検査 TAT 集計システム

検査受付、検査開始、検査実施時間のデータから待ち時間や件数集計、混雑時間帯などの TAT 情報をグラフ・統計するシステム。

3) 技師の業務管理システム

技師の業務量や検査所要時間などを集計するシステム。

【結果】

- ・ TAT モニタによりリアルタイムに検査室混雑状況が把握でき、スタッフ間の応援体制がスムーズになることで TAT 延長を未然に防げるようになった。
- ・ TAT 集計システムにより必要時にすぐに TAT 情報の確認が可能となった。その結果 TAT 延長の原因追究や分析が迅速に出来ることで継続的な TAT 延長対策が可能となった。

【まとめ】

生理 TAT 管理システムにより TAT 延長評価および原因追究が迅速かつ容易になった。TAT 延長解析を毎日実施し、検査室内で周知することで、生理スタッフの TAT に対する意識が向上、それぞれが待ち時間短縮に向けて業務に取り組むことが出来るようになった。

このシステムを活用することでリアルタイムに TAT 延長を抑制する体制ができただけでなく、適切な人員配置や業務改善につなげることが可能となった。

連絡先 046-822-2710 (内線 ; 2396)